

全県版

「石の島」歴史発信

笠岡・北木島ミュージアムオープン

パネル展示、カフェ併設

「石の島」として知られる笠岡諸島の北木島に29日、石材業の歴史・文化を伝える「K's LABO ストーンミュージアム」がオープンした。レンタル自

転車のステーションやカフェも設け、新たな

観光拠点を目指す。石材加工業「鳴本石材」(笠岡市茂平)が、フェリーの発着する同島・豊浦港近くの旧石材加工場2棟(計約2千平方メートル)を買い取り改装した。ミュージアムでは、江戸初期の大

坂城再築時に北木石が切り出されて以来、島に興ったとされる石材業の変遷を、パネルなど

で紹介。靖国神社大鳥居に用いられた石の積み出し風景(1933年)など当時の貴重な写真も並んでいる。カフェは近く営業を開始する予定。別棟には電動アシスト自転車やクロスバイクなどをそろえている。

この日、関係者ら約100人を集め現地で内覧会があった。鳴本石材本社でセレモニーも行われ、同社の鳴本哲矢会長は「北木石の歴史を次代に伝える場は長年の悲願。島と石材業の未来のために役立たい」と話した。

ミュージアムは豊浦港から徒歩約1分。開館は火、木、土、日曜日と祝日の午前10時～午後4時。入場料は中学生以上600円、小学生300円。問い合わせは同社(0865-661414)。(斎藤英宗)



北木島にオープンした「K's LABO ストーンミュージアム」